

神奈川県立大磯高等学校グランドデザイン

スクール・ミッション

- 全日制の課程学年制普通科を設置する高校として、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえ、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるよう、学力の育成、豊かな人間性や社会性の涵養、社会的・職業的な自立等をめざした教育課程を適切に編成する。
- 他者との協働をととして社会貢献につなげることができるリーダーの育成をめざし、自らが設定する目標の実現に向けて、主体的にキャリアデザインの構築を図ることのできる人材の育成に取り組む。
- 自ら課題を発見し解決する力を育み、主体的に学習に取り組む態度を養うことができるよう、主体的・対話的で深い学びの実現をめざした不断の授業改善の実施等、これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けた教育活動の充実に取り組む。

学校教育目標

- 社会人として必要な人間性を育み、個人の力を発揮しつつ他者と協働して社会貢献できる生徒、探究心を持って意欲的に学ぶ、継続して努力できる生徒を育成する。
- 生徒一人ひとりが、自らの目的・目標の達成のため、将来の生き方などについて主体的に考える力を養い、高い学力と意欲を持って進路実現が叶うよう支援する。
- 授業を通じて、主体的に学習に取り組む姿勢を持たせ、身に付けた知識や技能をもとに、学びを深めながら自己の考えを適切に発信する表現力を育成する。
- 特別活動・部活動を通じて、個人の力を発揮しつつ他者と協働して集団としての目標達成のために貢献できる力を身に付けさせる。
- 安全・安心な教育環境整備に努め、開かれた学校づくりを推進する。家庭や地域と連携し、幅広い教育活動を展開しつつ、生徒の心豊かな人間性、規範意識を高める。

グラデュエーション・ポリシー

- 自主自律の精神を身に付け、高い志をもってしなやかに生き抜くため、自ら課題を発見して探究し、解決に向けて自らが考え、行動する力を育みます。
- 自ら言葉を紡いで意見や考えを発信できる、高いコミュニケーション能力や、視野を広く持ち、他者を尊重し、多様な人と協働できる人を育みます。
- 多様化する国際社会・地域社会で活躍・貢献をするための思考力や判断力を備え、心と体のバランスが取れた将来のリーダーを育成します。

カリキュラム・ポリシー

- 学年制普通科の高校として、生徒一人ひとりのキャリア形成を促すために、早い段階から進路に応じた選択科目を多く取り入れたカリキュラムとしています。
- 進路意識の向上につながる体験活動や講演会などを通じて、自らの課題発見を促すとともに、幅広い教科において探究的学習を実践します。
- 地域の資源や外部機関の力を活用し、生徒の学習意欲を高め、自ら進んで社会に参画する有為な市民の育成を図ります。
- ICT を積極的に活用し、科学的リテラシー・情報リテラシーの形成を促すとともに、生徒の ICT 活用能力を育むことで、主体的・対話的で深い学びを実現します。

アドミッション・ポリシー

- 自ら目標を立て、課題を探究して解決しようとする態度を持つ生徒
- 地域や国、国際社会に目を向け、自らが社会に貢献するために努力しようとする生徒
- 中学校の学習内容の基礎・基本が身に付いており、自己実現に向けて探究し続ける意思のある生徒
- 学習以外の活動について積極的に参加し、学習との両立に努めることができる生徒

	教育課程・学習指導	生徒指導・支援	進路指導・支援	地域との協働	学校管理・学校運営
目 標	○ 粘り強く学習に取り組めるとともに、学習内容を振り返って調整し、探究心を持って学びを深めようとする態度を培う。 ○ 主体的、対話的で深い学びを目指した授業改善を遂行し、生徒が自己の学びを適切に発信する表現力を育成する。	○ 生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな教育相談体制を充実し、安心して高い目標に挑戦できる学校づくりを進める。 ○ 生徒の心豊かな人間性、規範意識を高める。 ○ 特別活動等を通じて、他者と協働して集団のために貢献できる力を身に付けさせる。	○ 生徒一人ひとりが、進路意識を深めることのできるキャリア教育の充実を図るとともに社会貢献意識を醸成する。 ○ 生徒個々の学力及び進路、受験に関するデータ分析を行い、それを学業貢献意識を醸成する。 ○ 生徒一人ひとりが、進路意識を深めることのできるキャリア教育の充実を図るとともに社会貢献意識を醸成する。	○ 様々な面で地域との連携を強化し、社会に開かれたカリキュラムマネジメントを推進する。 ○ 地域と連携して防災体制の整備に努めるとともに地域の環境美化にも積極的に取り組む。	○ 事故・不祥事の防止を徹底する。 ○ ICT を活用して校務の一層の効率化を図るとともに、個人情報の保護などの取組を推進する。 ○ WEB サイトや学校説明会等における情報発信を適切に行う。
主な方策	○ 学習目標や評価の観点を明確に示すことで生徒が自ら学ぶ姿勢を引き出す授業を展開する。 ○ 様々な資料を活用して生徒の学びを分析し、指導方法の改善や関心意欲の向上に努める。 ○ ICT を適切に活用するとともに、対話や発表の機会を多くし、表現力の向上を図る。	○ OSC や SSW 及び外部専門機関との連携を教科し、教育相談体制を充実させる。 ○ 安心安全な学校生活を過ごすために、規範意識や思いやりの心を育てる取組を積極的に行う。 ○ 生徒会活動、部・同好会活動の活性化のために適切な人的配置と予算編成に配慮し、効果的な運営を行う。	○ 生徒だけでなく保護者、教員を含めた学校全体で高い目標、進路意識を掲げるよう取り組む。 ○ 模擬試験や進路希望調査を適切に実施し、それらのデータ分析を踏まえて、より高い目標への進路指導を行う。 ○ 夏期講習及びその他の講習等の工夫、改善を通じて学力の向上を推進するとともに個別指導を充実させる。	○ 学校運営協議会や PTA との連携を通じて、探究的な学習や発信力を高める教育活動を活性化させる。 ○ 模範試験や進路希望調査を実施するとともに、周辺施設や自治体との連携し、防災意識を高める訓練を実施するとともに、海岸清掃活動などの奉仕活動も積極的に行う。	○ 事故・不祥事防止に係る職員の意識向上を図るため研修会などを適宜行う。 ○ 学習用アプリの導入の推進と、職員向け研修の充実。 ○ WEB サイトの更新の頻度を多くし、最新の情報を適切に発信する機会を多く確保するよう努める。

校訓・沿革・伝統

- 昭和 2 年大磯町立大磯実科女学校が、昭和 18 年に大磯町立大磯女子高等学校と改称、昭和 25 年に大磯町立大磯高等学校と改称、昭和 26 年に神奈川県に移管し、県立大磯高等学校となった。
- 「自主自律・一樹百穫」を校訓としている。

特色のある学校行事等

- 海の日に、本校の第二のグラウンドである海岸の清掃を、生徒・教員・保護者、そして地域の方々と協働で実施している。